

作成日：2024. 08. 19

長島食品株式会社

環境経営レポート

2023年度の実績
(2023/4~2024/3)



長島食品株式会社 代表取締役社長 門奈 亮太

 **長島食品株式会社**
手づくりで届ける、安心と笑顔。



1. 事業の概要

(1) 事業者名及び代表者名； 長島食品株式会社 代表取締役社長 門奈 亮太

(2) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先；

1) 環境保全関係の責任者 代表取締役社長 門奈 亮太

2) 環境保全関係の担当者 食品リサイクル・環境管理責任者 田中 欣

3) 連絡先 電話：0594-42-3011 F A X：0594-42-2570

メール：Hitoshi.Tanaka@kaneka.co.jp

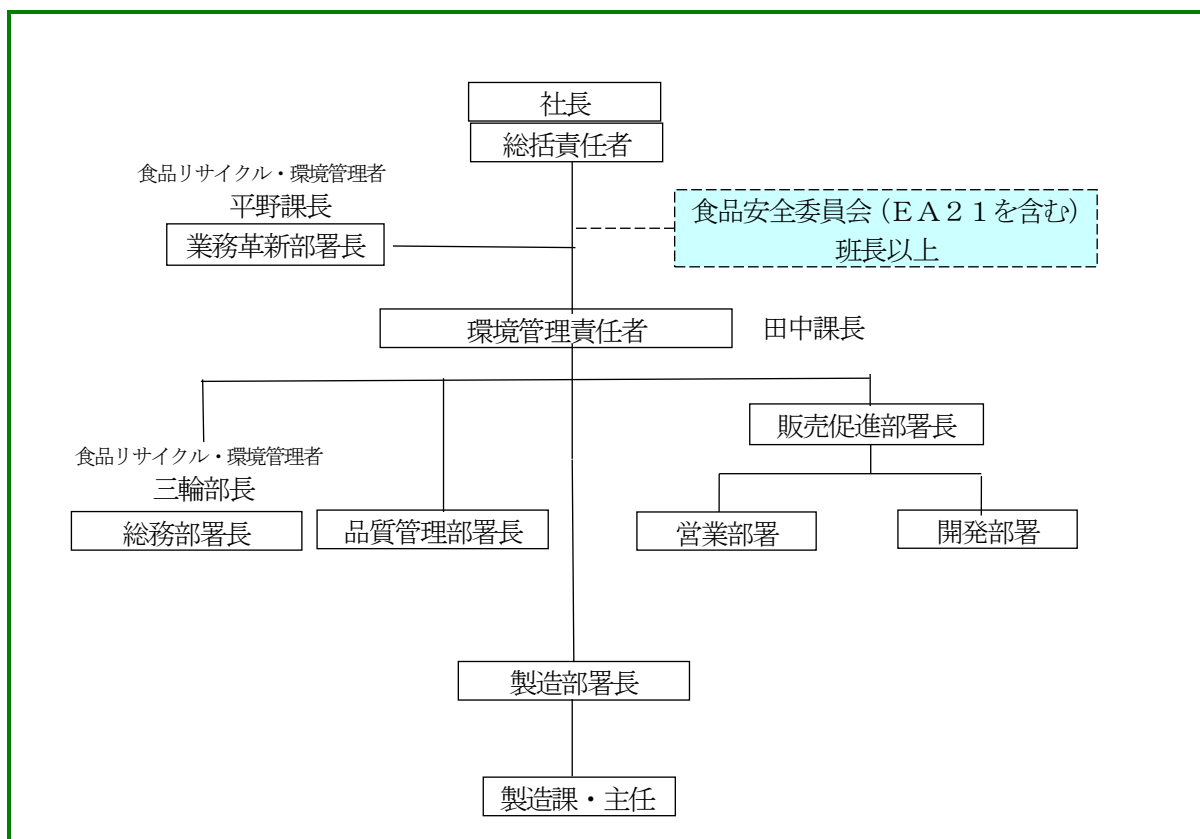
(3) 事業の規模； 2021～2023年度の実績（単位：百万円）

事業年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	979	1074	1226

従業員数…………… 概ね 54 人 工場延べ床面積…………… 2,137 平方メートル

(4) 事業の内容； 菓子製造業及び、食品の冷凍又は冷蔵業（冷凍生地（パイ・クッキー等）の製造）

(5) 体制図； 当社の環境経営システム 組織図



(6) その他の諸活動について

・ I S O 9 0 0 1：2004年5月、F S S C 2 2 0 0 0：2016年12月取得し、継続的な改善活動を展開中

・ A I B：2004年から毎年審査機関による監査を継続中（2023年：925点／1000点）

*A I B「食品安全管理システム」：食品業界の公的に認知された外部からの監査システムで、食品工場の安心を改善してレベルアップするシステムです。

	役割・責任・権限
社長	◆エコアクション21に関する代表者 ① 環境経営方針、目標の決定と承認 ② 環境経営マニュアルの承認 ③ 環境管理責任者、環境管理者の任命及び各部署責任者の指名 ④ 代表者による全体評価と見直し・指示（食品安全委員会）の実施 ⑤ 代表者による経営における課題とチャンスのとりまとめ
環境担当の課長 (環境管理責任者)	◆代表者になりかわりエコアクション21全般を指揮する総括責任者 ① エコアクション21の構築、実行等、全体活動の推進 ② 環境経営目標、環境経営レポート等、エコアクション21関連文書・記録の立案 ③ 環境経営方針、目標、エコアクション21活動等の全メンバーへの周知 ④ エコアクション21自己チェックシートのデータ収集推進及び取りまとめ表作成 ⑤ 想定緊急事態の提案及び対応手順の承認 ⑥ 想定緊急事態に対する訓練計画の策定・実施 ⑦ 工場全体に係る環境関連法令の対応・順守及び管理に関する業務 ⑧ 代表者による全体評価と見直し・指示インプット情報、改善のための提案のまとめ実施 ⑨ 食品安全委員会議事録作成
各部署長 (環境管理者)	◆環境管理責任者の指示に基づき、部署の環境管理活動を推進する ① 内外の環境情報収集と環境管理責任者への伝達 ② 事故及び緊急時の行政機関、対外関係者への情報伝達及び対応窓口業務 ③ 各部署の環境経営目標、環境経営計画の推進、進捗報告 ④ 部署関連エコアクション21自己チェックシートのデータの収集 ⑤ 部署内へのエコアクション21関連の運用、活動の浸透及び改善推進 ⑥ 従業員への教育訓練の計画的実施 ⑦ 部署関連のエコアクション21関連文書・記録の保管と維持 ⑧ 法対応等の監視・測定の実施と適合性判定及び記録 ⑨ 不適合、苦情等に係る次項の是正・予防処置及び有効性の確認 ⑩ 必要に応じて、個別作業（管理）標準書の提案及び改廃の実施
事務担当者	◆環境管理責任者の指示に基づき、関係資料を作成・整理・保管する ① 環境管理責任者の指示を受け、エコアクション21関連資料まとめや整理等の実施 ② 工場共通エコアクション21システム関連文書・記録の保管
全従業員	◆各部署長の指示に基づき、部署の環境管理活動を推進する ① 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ② 決められたことを守り、自主的・積極的環境活動へ参加

添付別紙ー 1 「環境経営方針」

環 境 経 営 方 針

1. 環境経営方針

当社は、環境との共生・調和を最重要課題と位置づけ、自らの責任と法令順守のもと全社一丸となって、環境に配慮した事業活動を行い、環境負荷を継続的に削減していきます。当社は、冷凍地の生産（菓子製造業、食品の冷凍又は冷蔵業）を営んでいることから、主に食品廃棄物の削減及び食品リサイクル、並びに電力、水の高効率利用等により、環境負荷低減に取り組みます。

具体的には以下には以下に取り組みます

- 1) 事業活動の推進に関わる環境関連法規・条例等を遵守します。
- 2) 当社の生産活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境目標に設定し取り組みます。
 - ① 電気を省エネルギー（地球温暖化）の対象として取り上げ、有効・効率的に使用します。
 - ② 食品リサイクルを推進し、再利用・再使用から廃棄物の減量を図ります。
 - ③ 廃棄物を分別し、発生量の削減に努め環境負荷の低減を図ります。
 - ④ 製造工程の改善や不適合低減により、収率を向上させ、原材料ロスの削減に取り組みます。
 - ⑤ 水使用量は、現状維持に努めます。
- 3) 環境経営方針を、当社の全従業員に周知します。
- 4) 環境経営方針並びに環境目標を定期的に見直し、必要に応じて改訂します。
- 5) 顧客ニーズの多様化への対応として、環境に配慮した原料（RSP0 認証油等）の使用に努め、環境配慮製品の開発を推進します。
- 6) 環境レポートを公表する等、顧客および、地域住民との環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。

制定日：平成20年02月01日

改訂日：2021年06月19日

長島食品株式会社 代表取締役社長

門奈亮太

2. 環境経営目標の設定と2023年度の結果

当社が毎年実施している「環境への負荷の自己チェック」、「環境への取組の自己チェック」に従い、二酸化炭素排出量、食品廃棄物類を含む廃棄物排出量および食品リサイクル、水使用量等を把握し、3ヶ年目標として2024年度から2026年度の環境経営目標を設定しました。

2025年度の環境経営目標および実施結果（実績）・評価を報告致します。

活動実績 活動指標		基準年度	2023 年			3 ヶ年中期目標		
		2022 年	計画	実績	評価	2024 年	2025 年	2026 年
生産量（トン）		1,685	—	1,724	—	—	—	—
二酸化炭素排出量の削減（t-CO ₂ ）		380.8	377.2	353.0	◎	349.5	345.9	342.4
食品廃棄物類の削減	廃棄物（トン）	116.1	135.1	94.7	◎	128.7	132.0	156.0
	リサイクル対象（トン）	108.7	135.1	94.7	◎	128.7	132.0	156.0
食品リサイクル率	%	100.0	100.0	100.0	◎	100.0	100.0	100.0
産業廃棄物の削減（トン）		45.4	44.9	46.4	△	44.5	44.0	43.6
水使用量の削減（m ³ /t）		0.89	1.50	0.86	◎	1.50	1.50	1.50
グリーン商品購入		38 品目	39 品目	38 品目	○	40 品目	41 品目	42 品目

注記1：2019年：度電力排出係数0.519kg-CO₂/kWh（電力会社〔伊藤忠エネクス〕の調整後の排出係数

2023年：度電力排出係数0.558kg-CO₂/kWh（電力会社〔テブコカスタマーサービス〕の調整後の排出係数

注記2：評価（見方）：◎大達成、○達成、△未達、×大未達

中期3：基準年値；食品リサイクル率100%（肥料に活用）

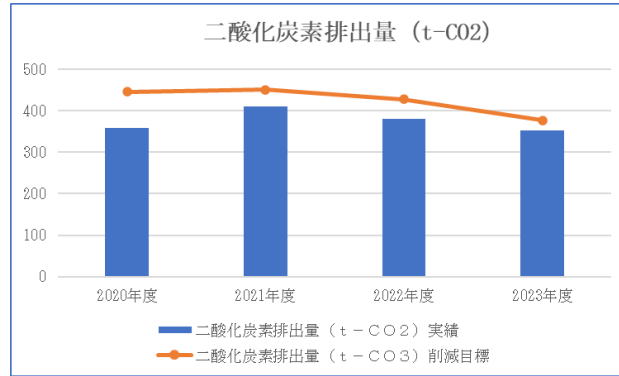
3. 2023年度エコアクション21の主要な環境経営計画及び取り組み内容

2008年2月から、全社一丸となってエコアクション21の取り組みを開始し、環境に係わる教育・訓練、コミュニケーションなどにより、従業員の環境保全に対する意識は着実に高まり、活動成果も上がってまいりました。

取組み結果の評価は3. 項の実績欄に記載しました。

（1）二酸化炭素排出量の低減（省エネ）

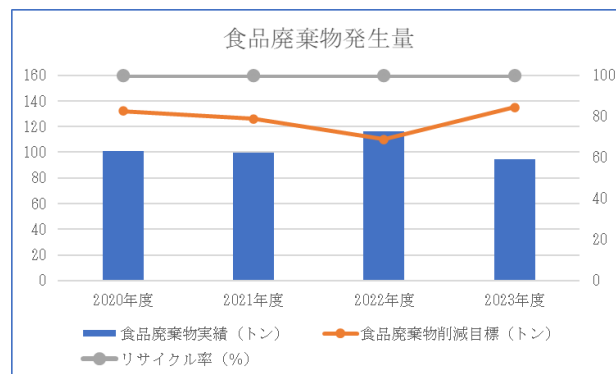
- ① GHG(温室効果ガス)排出量削減するべく R448A 等の低 GWP 冷媒機種種の冷凍機採用を中期計画通り更新実施しています。
- ② 改善提案制度（表彰制）、小集団活動による作業改善活動（ムリ・ムダ・ムラ）を実施しています。
- ③ 生産室の空調機の定期的な洗浄及びフィルター交換、冷蔵庫室外機の定期的な洗浄。旧工場の LED 化を計画的に順次実施により、省電力化が出来きるも夏場のダンボール置場室作業の熱中症対策によるエアコンフル稼働および、昨年に引き続きコロナウイルス感染症防止のための換気実施等により、空調機の消費電力量が増えるも老朽化した冷凍機を中期計画設備投資計画予算に沿って、更新の実施。原材料および製品出荷時の製造室の冷蔵・冷凍庫扉開閉を素早くする等を実施した結果、二酸化炭素排出量の低減目標は達成できました（グラフ1参照）。
- ④ 顧客ニーズの多様化への対応として、環境に配慮した RSP0（持続可能なパーム油のための円卓会議(Roundtable on Sustainable Palm Oil)）認証油の使用に努め、SDGs を推進しています。



(グラフ 1)

(2) 食品廃棄物類の低減と有効利用

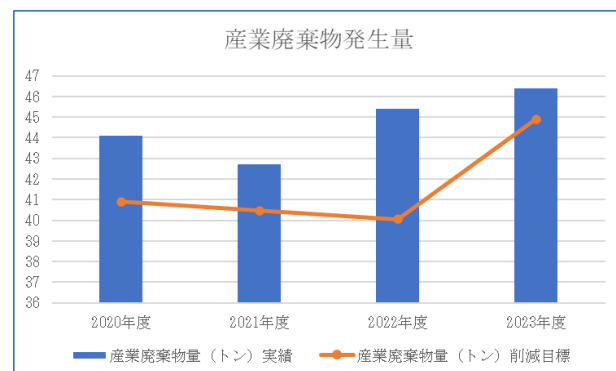
- ① 工程内不適合による製品廃棄の是正処置、有効性評価まで確実に再発防止の実施及び、自社製品の科学的根拠に基づいた賞味期限の継続して見直しを行い、賞味期限切れによるフードロスの削減を行いました。
- ② 経営会議での製品賞味期限間について会社全体で共有化して在庫の販売促進等を積極的に行い、賞味期限切れによるフードロス削減を継続的に行いました。
- ③ 廃棄生地、小麦粉は異物混入の無いよう分別回収を徹底して飼料・堆肥化100%を継続しています。(グラフ 2 参照)。



(グラフ 2)

(3) 産業廃棄物の低減と有効利用

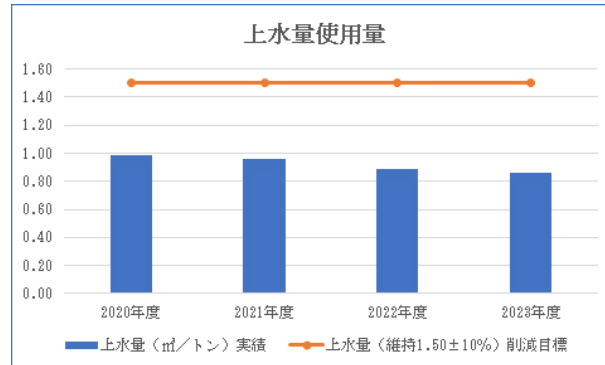
- ① ゴミ箱の色表示による分別収集の継続徹底及び梱包プラの分別リサイクル化を継続実施しています。
- ② 古紙、ダンボール等の分別有償化を継続実施しています。
- ③ 製品カバーに使用したシート発生量については生産量と比例しますが、廃棄処分後は、建材として再生使用されリユースを推進しております (グラフ 3 参照)。



(グラフ 3)

(4) 水使用量の低減（上水道）

- ① 製造工程は機械・備品類の洗浄時の「ムダ流し」禁止を継続実施致しました。
- ② 定期的な漏水チェックの実施及び食堂など居室には水量抑制のルールを継続実施しております。
- ③ 閑散期のまとめ生産、大ロット化生産による品種切り替え削減しました（グラフ 4 参照）。



(グラフ 4)

(5) ペーパーレス化

①WEB 会議での資料の共有化及び、ペーパーレス FAX 複合機を導入して検査成績表、納品案内等のプリントアウト廃止によるペーパーレス化を継続実施しました。

4. 2024年度主要な環境経営計画

2024年度も、現状分析に基づく改善策を実行し、製造工程からの廃棄物発生量の低減と再生利用の活用による廃棄物排出量の低減および食品リサイクル、省エネを重要目標として取り組んでいきます。

(1) 食品リサイクル再生利用等の実施率の向上、製造工程からの廃棄物発生量の把握と低減

- ① 食品廃棄物類（再生利用実施率）については、100%（肥料、飼料）を継続します。
- ② 産業廃棄物（廃プラ等）では更に削減を進め、再生利用（建材）100%を継続します。
- ③ 製品賞味期限を科学的根拠に基づき見直しを継続的に実施し、フードロス削減します。
- ④ 製品賞味期限間について会議で共有化して販売促進等を積極的に実施し、賞味期限切れによるフードロス削減します。

(2) 二酸化炭素排出量の低減（省エネ）

- ① GHG(温室効果ガス)排出量削減するべく R448A 等の低 GWP 冷媒機種種の冷凍機採用を中期計画に基づき、順次更新して行きます。
- ② 設置した新社屋屋根にソーラーシステムの本格稼働を開始します。
- ③ 旧工場全体のLED化、旧工場屋根の遮熱対策を予算化し、工場内の効率的な温調化を進めます。

(3) 管理スタッフ部門での定着化と推進

① 産業廃棄物の低減

新人社員、スタッフへの環境教育を進め、廃棄物の分別回収を徹底し、ゼロエミッション（定義；最終埋立処分率0.5%未満）目指し、継続的に取り組んで行きます。

② 水使用量の低減

食品製造会社のため、製造機器・用具・備品などの水洗浄や清掃作業は、食品安全・衛生面から非常に重要と認識しております。新社屋での女子トイレ擬音装置活用等、従業員の意識向上させ、製造工程以外の節水管理を維持して行きます。

③ 化学物質の使用量の管理

当社では備品漂白殺菌用に次亜塩素酸ナトリウムを使用しておりますが、その使用量の希釈濃度はSDSに従って定めています。これについては保管場所を決め、その管理（施錠）と数量管理を行っており、数量を確認して記録を残しています。

④ ペーパーレス化

2021年8月から本格運用している、ペーパーレスFAX複合機による電子管理の継続。2024年度から取り組み開始したDX化推進として新基幹システム導入を機に原料購買から製造販売に至る業務フロー中心に仕事内容棚卸、及び特に製造に関する各種指示書条件表記録類の見直しを行い、デジタル化に取り組みます。

5. 環境上の緊急事態への準備及び対応

当社で環境に影響に与える、もしくは与える可能性のある複数の緊急事態を想定して、7月29日に以下の環境上の緊急事態への準備及び対応訓練を実施しました。訓練結果については手順書に反映させて見直しを実施致しました。また、迅速な救命活動ができるようにAED（自動体外式除細動器）を設置致しました。

想定緊急事態	想定訓練内容	主な訓練方法
一般火災	① 全従業員対象で実施しています。 ② 防災（避難）訓練実施要領に基づき実施しています。 ③ 開催は1回／年以上実施しています。	① 実際の通報訓練、避難訓練、初期消火、担架での人命救助を一連で行い、緊急事態に備える

防災（通報、非難）訓練の実施風景、AED設置写真

① 通報訓練



② 非難訓練



③ AED設置



6. 環境に有益な諸活動の継続的な推進

長島町全体での“クリーン作戦長島ゴミゼロ” 美化活動に積極的に参加。

(1) 社内・外の定期清掃の持続可能な取組。

当社では地域近隣の環境美化活動に積極的に参加しております。

① 「クリーン作戦長島ゴミゼロ」に参加



7. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に該当し、順守する主な環境関連法規制は次の通りです。

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	順守状況
食品リサイクル法	食品廃棄物の発生抑制及び再生利用等実施率の向上については 現在、肥料として100%再生利用を維持。	順守
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（動植物性残渣、廃プラ等）は、保管・委託基準を 順守し、電子マニフェストにて管理。	順守
消防法（危険物）	消防用設備等点検結果報告書を提出。	順守
フロン排出抑制法	「業務用冷凍空調機器」の簡易点検および、冷媒フロン類冷媒取扱技術者によ る定期点検の実施。	順守

8. 代表者による全体評価と見直し・指示結果

（1）環境経営システム全体の取組み結果の評価

- ・23年度は過去最高の生産/販売数量となる中、電気/水道原単位の目標を達成できた事、小集団活動が軸となり、収率向上、食品廃棄物削減の目標を達成できた事を評価できます。

（2）今年度、特に成果が得られたこと

- ・小集団活動での生産性向上に向けた収率改善の取組みが効果を発揮し、また SOP 整備等ミスオペ低減に取り組んだ結果、収率目標はほぼ達成、食品廃棄物削減目標 142%達成が得られました。

生産数量拡大を背景に、品種切替を抑えた効率的な生産、老朽冷凍庫更新、全社的な節水への取組みにより、電気並びに上水の原単位目標がほぼ達成されました。

（3）今後の課題

- ・24年度は、前年に引続き小集団活動の活性化、作業標準書とワンポイントシートの整備、従業員教育の拡充により、意識改革を図りながら、収率/原単位改善、ミスオペ/不適合撲滅を継続的に実施する
また、新基幹システム導入と連動させて、業務内容の見直しと自動化による生産性向上策の検討/実施を進める。

〔変更の必要性〕

- | | | |
|------------|-------|---------|
| ・環境経営方針 | ■変更なし | □変更あり |
| ・環境経営目標・計画 | □変更なし | ■一部変更あり |
| ・実施体制 | ■変更なし | □変更あり |

注記：この細部は「代表者による全体の評価と見直し・指示議事録」に示しました。